

緑のセンターだより



No.149

公益財団法人 旭川市公園緑地協会 旭川市緑のセンター（相談所）
〒078-8327 旭川市神楽岡公園内 Tel: 0166-65-5553 Fax: 0166-65-5626
旭川市公園緑地協会ホームページ <http://www.asahikawa-park.or.jp>

発行：平成 26 年 8 月 1 日



緑のセンターまつり 2014 のお知らせ



平成26年8月3日（日） 10:00～16:00 神楽岡公園・緑のセンター



ステキな鉢花の景品が当たるかも…

催し物：青空体験教室、花と緑の相談コーナー、園芸市、球根・花苗（旭川市を緑にする会提供）プレゼント
フラワービンゴゲーム、親子もちつき大会、農産物即売、納涼ビアガーデン、
よさこいソーラン演舞、神楽岡太鼓演舞、旭川農業高校生による販売実習…



展 示：洋ラン、ミニ盆栽、山野草、石花盆景、押し花（一部即売あり）

青空
体験
教室



*午前・午後に各先着 200 名さまにブルーベリーの苗とチューリップの球根のプレゼント！



親子もちつき大会

講習会のご案内（お申込み・受付は前月の 20 日から）

「ハンジーと春咲き球根の寄せ植え」（実習）

とき 平成 25 年 9 月 7 日（日）教材費 600 円

午後 1:30～3:30 定員 20 名

講師 相談員

〈 連続講座のお知らせ 〉 講義と実習

第 4 回目 9 月 28 日「秋植え球根の植え方と花壇作り」

－神楽岡公園の花壇植付け－

第 5 回目 10 月 26 日「かんたん腐葉土作り」

－落ち葉集めと腐葉土作り－



展示会のご案内（初日は午後から、最終日は 4 時まで）

「押し花展」

8 月 1 日～26 日

展示：押し花サークル

“つくしんぼ”

あなたの作品を展示してみませんか？

☆緑のセンター「展示コーナー」を無料で開放致します。

☆講習会その他の予定がない時期限定です。

☆緑化、公園緑地に関するもの ☆営利を目的にしない

⇒期間等は相談が必要です。詳細は緑のセンターまで☎

【休館日のご案内】

4 月～10 月は第 2・第 4 月曜日が休館日（祝日の場合は翌日）

11 月～ 3 月は毎週月曜日が休館日 （ “ ” ）

～くつろぎカフェ～

8 月 28 日～31 日 13:00～15:00

☆建部久美子さん（ハーブティーセラピスト）による

茶葉の効用、抽出の仕方、種類…

受講料 100 円

～予約不要…いつでも～

♡
リラックス



試飲あります

〈園芸の基礎知識〉

植 物 の 葉

～葉の働き～

葉の三つのはたらき

(1) 光合成 (こうごうせい)

葉緑素を持った植物は、日光のエネルギーを利用し、水と二酸化炭素から、デンプンや糖などの有機物を合成します。生きていくために必要な栄養源（デンプン）を作る働き、これが光合成です。この時酸素が気孔から放出しています。

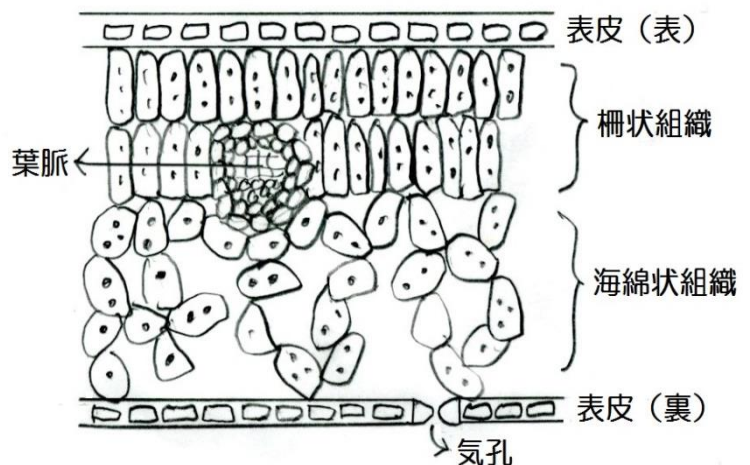
(2) 呼吸 (こきゅう)

植物も動物と同じように呼吸をしています。呼吸は光合成とは逆に栄養源（デンプン）と酸素を使い、生きるためのエネルギーを作り出しています。呼吸は昼夜行われており、この時二酸化炭素を気孔から放出しています。

(3) 蒸散 (じょうさん)

植物は根から水分や養分を吸い上げ、葉脈（維管束）を通して全身に行き渡らせております。葉からは常に、水分が水蒸気として気孔から発散（蒸散）しており、蒸散によって体の中に水の流れをつくっています。蒸散により植物内の温度調整も行われています。

葉の断面



(参考資料：学研「植物の生態図鑑」ほか)

緑の相談 Q アンド A (23)

何年も植えたままの、スイセンの花付きが悪くなって来ました。花付きを良くするには、どうすれば良いのでしょうか。

スイセンは、植えばなしでも良い生育をしますが、分球した球根が増えすぎると、球根の肥大が悪くなり、花が咲きづらくなります。このような時は、球根を掘り上げ、分球して植え直しをしましょう。

- 1 茎葉が黄変してから、掘り起こします。
- 2 球根は網袋に入れ、日陰で通風の良い所に吊るしておきます。
- 3 スイセンの発根は早いので、9月に入れば植付けをします。
- 4 植付けは日当たりの良い場所にします。日陰では、花の咲かない事もあります。
- 5 植付けの深さは、球根の2～3個分程度にします。



※ホームページ(<http://www.asahikawa-park.or.jp>)に「花と緑の相談コーナー (Q&A)」を掲載しています。こちらでもご利用ください。

植物の病害虫

その20 ^{はんしんいちょうびょう}「ナス半身萎凋病」

家庭菜園ではとくに発生しやすい病気です。

ナスなどに発生する半身萎凋病とダイコンのバーティシリウム黒点病は、病原菌が同じバーティシリウム・ダーリエ菌によって発病します。連作すると発病率はきわめて高くなります。

1 寄主範囲

ナスのほか、トマト、キュウリ、トウガラシ、ジャガイモ、メロン、イチゴ、ハクサイ、ダイコンその他多くの野菜に発生します。



ナス半身萎凋病（葉）



ナス半身萎凋病（株全体）

2 病徴

ナスの収穫が始まるころ、枝の下葉から片側だけが萎れて垂れ下がり、のちに落葉します。はじめは葉脈間に周縁不鮮明の褐色斑が生じ、しだいに病斑の中央部から枯れて落葉します。

発病初期は、枝の片側の葉だけに限られ、一枚の葉の主脈を中心として片側だけが萎れます。これが1～2日後には黄白色になって枯死します。激しく発生した株は早期に全体が枯死します。



大根バーティシリウム黒点病

3 伝染経路

典型的な土壌伝染病です。多くの作物、雑草に寄生して導管を侵します。

病原菌は植物の残さ上に形成された微小な菌核により、土壌中で長期間（8～14年）生存するので、作物の根が菌核の近くに伸びてくると菌核が発芽して菌糸を伸ばし、根の先端部や傷口から侵入して感染します。導管内で増殖した菌は水分の上昇を妨げ、あるいは毒素を出すために植物を萎れさせます。

4 発生環境

本病原菌の発病適温は比較的低く 22～25℃です。地温が 18℃以下や 30℃以上の場合には発病しにくくなります。土壌水分が高い場合に発病しやすく、日照不足も発病を助長します。

5 防除法

- （1）ナス科やウリ科、ダイコンなど本病が発生しやすい作物の連作を避けます。
- （2）抵抗性台木を用いた接ぎ木苗を用いて発病率を低下させます。
- （3）ビニールハウスで太陽熱による土壌消毒や糖蜜を用いた還元消毒を行う方法があります。
- （4）薬剤による土壌殺菌法もあります。例えば、製品名でダゾメット剤の土壌混和や、ナス半身萎凋病にはベノミル剤の土壌灌注が登録されています。

ペラルゴニウムの栽培管理

ペラルゴニウムはゼラニウムの仲間で、一般的に一季咲きのもの（グランデフロルム・ハイブリッド系）をペラルゴニウム、四季咲きのもの（ゾナーレ・ハイブリッド系）をゼラニウムと呼んでいます。



1 栽培環境

一年を通して日当たりと風通しの良い場所を好みます。真夏は西日の当たらない場所で育てます。開花中は、雨が当たらない場所で育てます。

2 水やり

夏の間は、土の表面が乾いたらたっぷりと水やりします。開花中は萎れないように注意します。

3 用土と肥料

中性～弱アルカリ性（pH7.0～）土壌を好むので、用土にはあらかじめ苦土石灰を加え、基肥として緩効性肥料を混和します。さらに完熟堆肥を一割ほど加えます。また、生育が旺盛になる初夏から秋まで、油かすなどの緩効性肥料を置き肥するか、液肥を 1000 倍程度に薄めて 10 日～2 週間に 1 回程度水やりがわりに施します。

4 植え替え

花後と秋に植え替えします。秋は表土を軽く落として一回り大きな鉢に植え替えます。

5 ふやし方

初秋にさし芽でふやすことができます。花後の切り戻しのあとに伸びた枝を 5～10cm の長さに切ってさし穂とし、無肥料の水はけの良い土に挿します。

6 害虫

夏になるとオンシツコナジラミが寄生しやすくなります。葉の裏に白い虫を見つけたら駆除します。

展示室の植物（56）

クダモノトケイソウ（英名パッションフルーツ）

トケイソウ科トケイソウ属（パッシフロア属）



ブラジルが原産地のつる性の多年草で、時計の文字盤を思わせる花が咲き、果実はタネを含む半透明の仮種皮がゼリー状で甘酸っぱく、βカロテンが豊富でタネも食べられます。

日本では果実の色は紫色が主流です。夏ごろにあんどん仕立ての鉢物として流通しますが、最近は緑のカーテンとしても利用されています。

果実がついている間はよく水を吸うので水切れに注意します。35℃以上の高温下では果実が落下することがあります。